

目指すべき姿	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R6年度1月末時点)				R6年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
誰もが松江の伝統文化芸術を 誇りに思い、 心豊かに過ごせるまち	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、 心豊かになれるまち」だと考える市民 の割合	%	58.9	61	63	65	目標値を達成することはできなかったものの、前年から4.5ポイントアップした。特に、20歳未満の方と70歳以上の方の、約7割が肯定的な回答をしていることがわかる。	特に20代～30代を中心とした若い世代や子育て世代をターゲットに、親子で伝統文化芸術を体験できる機会の確保を継続して実施していく必要があるとともに、世代ごとに手法を分けた情報発信の充実を図る必要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
			58.9	58.9	57.8	62.3				

K P I 進捗管理票（★は総合計画掲載のKPI）

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R6年度1月末時点)				R6年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 古代から近代までの 豊富な文化財	国・県・市指定等文化財の 新指定等件数	件	2	2	2	2	市指定文化財について、松江市文化財保護審議会へ諮問し、1件（手結のスラン プ褶曲）を指定。	市指定文化財について、学術的な調査と文 化財所有者の同意が必要である。	年2件以上の 指定・追加指定	文化スポーツ部
			2	2	4	1				
	★ 歴史的建造物登録認定数 【平成28年度からの累計】	件	17	18	19	20	令和6年11月開催の歴史的建造物保全活 用審議会の答申を受け、登録候補の3件 を1月に登録した。	さらなる制度周知により市内の歴史的建造 物所有者に保全活用の理解を促す必要があ る。 所在エリアの核となる存在として、登録物 件を保全活用することでエリア全体の振興 につながるよう戦略的に登録を進める必要 がある。	毎年+1件	文化スポーツ部
			17	17	18	21				
	★ 松江城天守登閣数 【4月～3月】	人	445,000	445,000	450,000	460,000	国外からのツアー観光客や、県内外から の修学旅行者や家族連れなど、団体での 登閣者も多く見られ、少しずつ登閣者数 が増えている。	県外や国外からの来場者が増え、ホーム ページを見てから来場する観光客も増える ことが見込まれるため、魅力が伝わる形で の情報発信の充実・強化が必要となる。	R11年度の標値 500,000人に向け、 経年的に設定	文化スポーツ部
			177,482	314,002	375,756	346,760				
 地域に根づく 伝統文化	(小6) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	63.2	65	67	69	地域の行事や地域をフィールドにした学 習の機会も復活し、参加児童の割合も回 復してきている。	地域の行事に関心を持てるよう、地域を フィールドにした学習・活動機会の確保が 今後必要。	毎年+2%	教育委員会
			63.2	61.1	56.4	58.8				
	(中3) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	46	48	50	52	地域の行事が復活し、行事への参加・参 画の機会も増加傾向にあり、参加生徒の 割合も回復してきたことにより、目標値 を達成することができた。	地域の一員として、行事の運営に携わるよ うな仕掛け（あるいは体制）を更に構築す ることが必要。	毎年+2%	教育委員会
			45	37.6	34.3	52.4				
	松江祭鑾行列の参加者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	参加者は昨年比で微減であった。 若年層の参加は課題である一方、町内外 の学校からの参加者もあった。	各団体とも参加者の確保が困難になってい る。地域の子どもが減っているため、特に 子どもの参加者確保が難しい。今後は地域 外からの参加者や、学校を巻き込んでの実 施を検討する必要がある。	1団体100人×20団 体	文化スポーツ部
			0	1,000	1,700	1,640				
 市民生活に根づく 茶の湯文化	「松江藩ちやのゆの学校」受講者数 【4月～3月】	人	112	124	136	150	開催回数※7回(前年5回)、参加人数と もに前年を上回る結果となった。リピー ト団体も増加している。	新規利用者を増加させるため、情報発信を 継続して強化する必要がある。	毎年+12人程度	文化スポーツ部
			0	34	82	109				
	明々庵及び赤山茶道会館の入館者数 【4月～3月】	人	12,350	13,212	13,212	13,212	1月末時点の入館者数は13,369人であ り、前年比増となった。インバウンド需 要が高まっている事によるものと考えら れる。	周辺施設との連携を一層強化し、施設活用 を活性化させる。	[R3] H25-27平均の95% [R4-6] H28-31平均の95%	文化スポーツ部
			8,565	15,494	15,736	13,369				
	★ 出雲かんべの里工芸ショップ及び クラフト展での工芸品販売額 【4月～3月】	千円	4,245	5,370	6,495	7,620	・いろは舎での販売、中心市街地トライ アルスペースでの販売、R6年10月にリ ニューアルオープンしたカラコロ工房で 実施した、工芸品展示販売等により、工 芸品販売額が積み上がっている。 ・今後もカラコロ工房での複数のクラフ トフェアを予定しており、更なる売上確 保を見込む。	・島根県唯一の百貨店が閉店となり、大型 の工芸品展示会場を失った。その代替とし ての会場確保が必要である。 ・付加価値を付けて使う人に渡す「繋ぎ」 の機能が不足しているため工芸の地域商社 が必要。 ・個々で活動していることから地域産業と しての認知度が低いため松江工芸としての ブランディングと発信が必要。 ・市内にあるトライアルスペースの把握が 不十分であり、展示販売できる場所が認知 されていないことから、トライアルスパー スの把握とPRが必要。	1,125千円/年 増	産業経済部
			3,949	8,980	5,841	10,506				

K P I 進捗管理票（★は総合計画掲載のKPI）

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R6年度1月末時点)				R6年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化	★ 多文化理解を促進する事業への 参加者数 【4月～3月】	人	1,400	1,800	2,000	2,200	出前講座の他、市主催の多文化理解講座 などを実施しており、概ね順調に参加者 の増加に繋がっている。	出前講座については同じ団体から毎年継続 しての依頼が多く、これまでに依頼のない 学校・団体等へのPRが課題である。	毎年+200人	観光部
			1,744	2,056	2,780	1,571				
	小泉八雲記念館の入館者数 【4月～3月】	人	92,000	92,000	92,000	92,000	1月末時点の入館者数は前年比137.7%と 順調に推移している。NHK連続テレビ小 説朝ドラ「ばけげん」の制作決定以降、 注目が集まり、毎月前年を上回ってい る。1月は前年比168.2%と大幅な増加と なった。目標値を上回る入館者が期待で きる。	小泉八雲の展示施設・研究拠点として、小 泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理 する必要がある。	H24-H28の平均	文化スポーツ部
			29,877	52,057	64,952	76,712				
	★ 歴史・文化資源のまち歩き参加者数 【4月～3月】	人	180	240	240	240	R6年度は、5地区で合計103名の参加が あった。応募総数は5地区で合計242名。 まち歩きしたいという需要は高いが、市 主体の実施には限りがある。公民館等の 各地域主体のまち歩きにつなげることが できるようにしていく必要がある。	参加者の特徴として、60代から70代の高齢 者数が大半を占め、参加者の年代に偏りが ある。 参加者のうちリピーターの占める割合が概 ね半数以上となっている。 市主催以外のあり方を検討し、持続可能な 活動展開に取り組む必要がある。	20人×12回	文化スポーツ部
			182	214	198	103				
 市民とともに育む 文化芸術活動	松江市民美術展来場者数	人	1,575	1,650	1,725	1,800	令和6年度は目標値を達成することがで きなかったが、前年比192人の増加と なった。 この要因として、令和6年度にデザイン 部門を新設したことで、デザインに興味 のある方の来場を促進することができた ことと、若い年代の出品数が増えたこと により、若い方の来場者数が増加したこ とが挙げられる。	公募作品の出品数が減少傾向にあり、その ことが、来場者数の伸び悩みに影響を与え ていると考えられる。 高校生の出品が増加しているものの、まだ 相対的に若い世代の入場者が少ない。	毎年+75人	文化スポーツ部
			940	1,061	1,157	1,349				
	松江市文化協会加盟団体の団体数	団体	100	105	110	115	1月末時点での加盟団体数は95であり、 昨年より3団体増加した。文化団体の活 動がコロナ前の水準に戻ってきているこ とに加え、市報等での積極的な周知によ るものと考えている。	新型コロナウイルス感染症の影響は緩和さ れてきたが、年齢や加入人数の減少など を理由に退会する団体がある。 加入団体を見ると、若者が少ない。 団体の活動・発表の場の確保が必要。	毎年+5団体	文化スポーツ部
			99	97	92	95				
	八雲林間劇場（しいの実シアター） の利用者数 【4月～3月】	人	5,184	5,930	6,048	6,169	1月末時点での利用者数は4,007人と、R5 年度同時点より少ない。10月に人形劇公 演を開催し、4日間で665名が来場される など昨年に続き好評であった。引き続き 平常時の貸館利用拡大に向けた広報活動 に務める必要がある。	引き続き平常時（松江・森の演劇祭（3年に 1度）開催以外）の貸館の利用拡大に向け たPR、広報に努める必要がある。 近隣のかやぶき交流館と合わせて、一体 的な施設のあり方、活用方針を検討する必 要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
			3,964	6,781	6,768	4,007				

K P I 進捗管理票（★は総合計画掲載のKPI）

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R6年度1月末時点)				R6年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 伝統文化芸術の 拠点となる施設	★ プラバホール施設利用者数 ※令和4年度、5年度休館 【延べ利用者数／4月～3月】	人	85,000	－	7,400	100,000	R6年4月に全館再開した。通年で行うリ ニューアルイベントや新設した学習室の 影響もあり休館前に比べ利用者数は増加 している。 プラバホール利用者数 76,561人	リニューアル内容の周知やイベントのPR等 を行い、幅広い世代の利用者を増やして いく必要がある。	・R11年度の目標値 120,000人に向け て、経年的に設定 ・R6年度のみリ ニューアルイベント 実施を考慮 ・R5年度はR3年度 実績値から設定	教育委員会
			46,665	－	6,700	76,561				
	★ 松江歴史館観覧者数 【4月～3月】	人	52,100	51,000	52,000	53,000	1月末時点で前年度に比べて観覧者数は 増加しているが、6月から9月、12月は前 年同月の観覧者数を下回っている。入館 者数は昨年度と比べ各月ともに増加して いる。	観覧者は入館者の約3分の1にとどまってい る。また、近隣施設である松江城や小泉八 雲旧居などに比べ、観覧者が少ない。近隣 施設を周遊する仕組みづくりや連携した取 り組みを行っていく必要がある。	毎年+1,000人	文化スポーツ部
			28,760	42,673	48,647	41,022				
	出雲かんべの里利用者数 【4月～3月】	人	53,000	54,000	55,000	56,000	昨年度の同時期と比較して、順調に推移 しており、利用者数増の見込みである。 利用者数103,789人（民話館7,733人、 工芸館. 90,493人、かんべ茶屋5,563 人）	工芸館・民話館についてはそれぞれの施設 利用者の実績を鑑み、運営方法を検討する 必要がある。	毎年+1,000人	教育委員会
			60,003	61,052	61,832	103,789				
 宍道湖・堀川・中海等の 松江的景観	★ 水辺の公共空間活用日数 【4月～3月】	日	182	174	174	175	実績値は年度末に集計するため達成状況 は不明だが、民間事業者による利活用が 進んでいる状況である。 岸公園・白潟公園の河川空間のオープン 化によって利活用の自由度が向上するこ とから更なる活用日数が見込まれる。	水辺の公共空間の活用について、各所で賑 わいが生まれているが、日常的な賑わい にはまだ繋がっていない。今後、河川空間を オープンの区域を広げ、民間事業者の活用 が進み、水辺の公共空間が日常的に賑わう よう利用促進に取り組む必要がある。	【中心市街地活性化 基本計画】 基準値：548日 (H26年～30年度累 計) ↓×約1.73倍 目標値：948日（R 元年12月～7年3月 累計）	都市整備部
			368	458	280	－				
	松江市伝統美観保存区域等 修景事業費補助金 補助件数 【平成19年度からの累計】	件	54	56	58	60	伝統美観保存区域（塩見縄手地区）にお いて、建築物の改修予定が1件あった が、改修内容の変更により補助対象外と なり、補助金申請は行われず。 令和6年度の補助金申請については0件 で目標の2件を下回る。	補助金を活用いただくために、補助金の制 度や、根拠となる松江市景観計画を継続し て区域内の方に周知を図る必要がある。	毎年+2件	まちづくり部
			53	55	57	57				
	ジオパーク関係イベント入込客数 【4月～3月】	人	2,000	2,200	2,400	2,600	美保関町でのトレッキングや、八束町の 竜溪洞の定時ガイド、ジオパークの日の イベント等、様々な活動により目標値に 近い入込客数があった。	幅広い世代を対象としたツアーやイベント を企画・開催し、今後も入込客数を増やし ていく必要がある。	毎年+200人	文化スポーツ部
			1,949	2,134	2,413	2,393				

K P I 進捗管理票（★は総合計画掲載のKPI）

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R6年度1月末時点)				R6年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
情報発信	松江市HP文化関係ページの アクセス数 【4月～3月】	件	200,000	210,000	220,000	230,000	前年の同時期と比較して、閲覧数が 15,000件以上増え、アクセス数増に向け て順調に推移している。	より多くの方に閲覧いただくために、より 魅力的なコンテンツを掲載するとともに、 HPへ流入する手法を検討する必要がある。	毎年+10,000件	文化スポーツ部
			199,082	132,933	132,356	126,372				
	松江市文化協会HPのアクセス数 【8月～10月平均】	件	23,521	23,991	24,470	24,959	新型コロナウイルス感染症の5類引き下 げ以降、松江市文化協会加盟団体の活動 がコロナ禍前の水準に戻りつつあり、さ らに令和6年度は、市民文化祭の付随イ ベントとしてこども向けのイベントを開 催したため、HPアクセス数が伸びたと考 える。	松江市文化協会の加盟団体数が伸び悩んで おり、各団体の高齢化も進んでいるため、 若い人にも訴求できるHPにする必要があ る。	毎年+2%	文化スポーツ部
			23,521	23,559	22,403	41,851				
	公式X(旧Twitter) [松江城with史料調査課]の フォロワー数 【4月～3月】	人	700	800	900	1,000	令和5年度以降、フォロワー数は順調に 伸びている。松江城に関する様々なイ ベントや史料調査に関する発信情報が増 えたことが要因と考えられる。	松江城のイベント情報などは受け取る側の 需要もあるが、調査研究情報は一方的にな りがちである。届けたい相手に情報が届く 工夫が必要。	毎年+100人	文化スポーツ部
			710	985	1,131	1,447				
人材育成	松江の文化力体験推進事業の 講座・体験教室の実施件数 【4月～3月】	件	－	20	22	24	前回分析時の予定通り、14件の講座を 開催した。	子どもと保護者が興味関心を持って楽しく 学び・体験できるよう、講座や体験教室の 内容や実施時期について検討する必要があ る。	毎年+2件	文化スポーツ部
			－	13	12	14				
	松江の文化力体験推進事業の 講座・体験教室の参加者数 【4月～3月】	人	－	2,300	400	500	すべての体験講座が終了し、目標値を達 成した。体調不良キャンセルによる定員 割れもあったが、逆に定員を超えて受け 入れる講座もあった。	なるべく多くの方がご参加いただけるよ う、予約システムの運営方法を見直す必要 がある。	R4年度実績値から 毎年+100	文化スポーツ部
			－	294	362	500				
資金	ふるさと納税受入額 【4月～3月】	千円	200,000	200,000	300,000	500,000	寄附額が前年同期比で約135%と伸びてお り、返礼品の充実や返礼品画像の魅力度 向上の取り組みの成果が出ている。	寄附額をさらに増やすため、返礼品の一層 の充実、寄附者層の掘り起こし及びリピ ーター施策に取り組んでいく必要がある。	R5年度目標の約 160%	産業経済部
			157,187	210,514	379,863	473,356				